

# 河口 豊先生のご退職を迎えて

佐能 孝

広島国際大学医療福祉学部医療経営学科 学科長 教授

河口 豊先生は、本学の開学前から、医療経営学科の立ち上げにご尽力され、現在の広島国際大学医療経営学科が、この広島の地をはじめ全国的に「医療の世界」で認められる存在になることができているのもまた、河口先生のご尽力によるものです。さらに、先生は、対外的な活動とともに、学内においても、医療経営学科の学科長、医療福祉学部の学部長として、医療経営学科の確固たる地位を築いてこられました。

河口先生は、学生に対し、穏やかに的確な指導をされ、個々の学生の事を考え熱心に指導をされることから、全ての学生から大変な信頼を得ておられます。教職員はもちろん事務職員からも、「父親」のように信頼され、理想の上司と慕われています。優しい穏やかな口調で、的確な指摘とアドバイスをいただき、救われた教職員、事務職員は数知れません。

私は、臨床医学の分野で長年仕事をしてきました。独特の大学組織に飛び込んで、着任1年半で、大学のこと、周辺のことがよくわからないまま、学科長に任命され戸惑うことばかりでありました。何も知らない無鉄砲な新米の学科長であり、配慮が足りない点が多く、学科運営がスムーズに行かない時、職員食堂で、昼食を取りながら、的確なアドバイスをいただいたことには感謝しております。また、いつも学科運営に配慮いただき、医療経営学科の方向性についても様々なアドバイスをいただきました。私の不足の部分をずいぶん助けていただき感謝しております。

「2008年度いっぱい辞める」とおうかがして、大変残念に思うとともに、「父」から「独立して一人歩きしろよ」と言われたような気がしました。河口先生が作り、10年間育ててこられた「広島国際大学医療経営学科」を我々で受け継ぎ、次の更なる発展に導きたいと考えております。また、アドバイスをお願いすることがあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

今後の河口先生のご健康とご活躍を祈念しております。ありがとうございました。先生のご指導に心より感謝申し上げます。

## 【河口 豊先生 略歴】

工学博士。専門は病院建築。1944年東京生まれ。1969年千葉大学大学院工学研究科建築学専攻修了。病院管理研究所建築設備部を経て1989年国立医療・病院管理研究所施設計画研究部長。1998年広島国際大学医療福祉学部教授、現在に至る。この間、医療経営学科長、同学部長。大学・大学院で伊藤誠教授の指導を受け病院建築の道に進む。精神病院、災害時の医療提供施設計画、院内各部門の研究に携わる。病院計画では高知県立幡多けんみん病院、明石市民病院などの基本計画、寿泉堂松南病院、長崎県立大村病院などの計画・設計に携わる。設計者選定では高知医療センターや島根県立こころの医療センター、佐賀県立好生館、長野県立駒ヶ根病院ほか。主な著書は共著で、新建築学大系31『病院の設計』（彰国社）、『新しい感染症病室の施設計画ガイドライン』（へるす出版）、『スタンダード精神化救急医療』（メヂカルフレンド社）ほか。

「欧米の病院を視察して常に思うのは空間が豊かである、ということである。なぜだろうかと考えていた。診療部門、つまり検査部門、放射線部門、手術部門などは日本とあまり変わらない。むしろ日本のほうが部屋数や医療機器の種類は多い位である。しかし、一歩病棟に足を踏み入るとまったくといっていいほど異なる。無論のこと全てを見ているわけではないが、欧米ではゆったりとした病室、広い廊下、大事にされている家具、やわらかい光など一般家庭や社会施設である図書館や美術館と同じレベルの空間が病院内に存在するのである。入院あるいは入所であろうとそこで人間が生活する以上、一般社会と同じ水準のものが提供される、これが基本的人権なのであろう。しかし日本の病院はこのような造りになっていない。診療の充実こそが患者が望む早期退院につながるという。人と空間の関わり方が違ったようである。療養生活に空間が精神的支援として重要であることがわかった時であった。その後面積は少しは拡大されたとはいえ、今でも日本の病棟建築には豊かな詳細設計はないと思えるのである。」

河口 豊

基本構想・基本計画・委員会

2008年 高知県立安芸病院  
豊川市民病院

2006年 佐賀県立好生館

2003年 長野県立駒ヶ根病院

2002年 袋井市民病院  
JR 東海病院

2000年 広島県立がんセンター  
浴風会介護研究センター  
広島県住宅供給公社グループ

1999年 大阪市立弘済院

1997年 山口県立清和荘

1995年 和歌山県立五陵病院

1994年 寿泉堂松南病院老人地方病棟  
熊本県立富合病院

1993年 日本医科大学北総病院  
大蔵省印刷局東京病院

1992年 秋田県立総合リハビリテーション・  
精神医療センター  
滋賀県立健康長寿研究施設

1991年 宮崎県立日南病院  
宮崎県立延岡病院  
川崎市立井田病院  
富山赤十字病院

1990年 群馬県立佐波病院

1988年 滋賀県立精神保健センター  
三重県立総合病院

1986年 銚子市立病院

1984年 明石市立病院

1983年 長崎県立大村病院  
広島県立広島病院  
東北大学 ICU

1980年 香川県丸亀病院  
横浜市立病院

1979年 桐生厚生総合病院

プロポーザル・PFI 審査

2008年 長野県立駒ヶ根病院  
佐賀県立好生館

2007年 出雲市立総合医療センター  
いの町立仁淀病院

2006年 兵庫県立加古川病院  
国立病院浜田医療センター

2005年 徳島県立中央病院  
島根県立こころの医療センター(PFI)

2004年 船橋市立リハビリテーションセンター

2003年 高知医療センター(PFI)  
岐阜赤十字病院

2002年 野口記念病院  
沖縄県立光度・多機能病院

2001年 済生会下関病院

2000年 井原市民病院

1999年 成田市保健センター  
高知県・市新病院  
船橋市特別老人ホーム  
上市町立上市厚生病院

1997年 君津中央病院  
静岡県立がんセンター

1996年 甲州ケアホーム  
君津市総合保健・福祉センター

1995年 山形公立置賜病院  
山形県立中央病院